

主要生命保険会社の令和4年3月期決算の概要

1. 損益の状況

- 保険料等収入は、新型コロナの影響に伴う営業活動の自粛からの反動等により、一時払商品の販売が増加したことなどから、前年に比べ増収。
- 当期純利益（純剰余）は、危険準備金の積立てなどにより臨時損益が悪化したものの、企業業績の回復等により内外株式が増配し、基礎利益が増益となったことから、前年に比べ増益。

（単位：億円）

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	前年比
保険料等収入	282,509	261,766	270,152	8,385
基礎利益	36,145	38,132	42,058	3,925
キャピタル損益	▲7,477	4,293	4,158	▲135
臨時損益	▲6,756	▲11,800	▲15,634	▲3,834
特別損益	▲2,695	▲4,994	▲4,057	937
当期純利益（純剰余）	12,539	18,610	19,242	631

2. 健全性の状況

- ソルベンシー・マージン比率は、内外金利上昇等により、その他有価証券評価差額が減少したことなどから、前年度末に比べ11.6%ポイント低下。

（単位：%）

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	994.5	1005.0	993.4	▲11.6Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、かんぽ生命の19社を集計。